

平成29年度 松陽高等学校 不祥事ゼロプログラム

松陽高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

松陽高等学校は不祥事ゼロプログラムの実施のために事故防止会議（企画会議）を設置する。責任者は校長とし、副校長、教頭及び事務長がこれを補佐する。

また、不祥事防止に係る担当総括教諭をはじめとする総括教諭は、校長、副校長、教頭及び事務長を補佐する。

2 目標及び行動計画

全職員による不祥事の根絶を目指した取組をはかり、定例の職員会議等と併せて、次の各課題を中心とした不祥事防止に係る校内研修会の実施に努める。

また、朝の打合せ時に不祥事防止を目的とした啓発を資料等を活用しながら積極的に行い、日頃から職員の意識向上をはかる。

さらに、全職員との個別面談を通して不祥事防止の徹底を図る。

(1) 円滑な業務執行体制の確立（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）

ア 目標

学校の業務進行状況等について全職員が共有し、相互に協力しあう風通しの良い職場づくりをはかる。

イ 行動計画

- i 定期試験、成績処理、調査書発行、進路関係書類の取り扱い、入学者選抜業務について手順を確認しながら作業にあたる。チェック項目一覧表での点検を適切に行い、万全の体制をもってあたる。
- ii 職員間、グループ間等で相互に連絡、連携しあえる業務遂行態勢づくりに向け、業務の進め方、会議のあり方等について日々の活動を通じて意識を高め、改善をはかる。
- iii 本校の業務執行体制に係る課題等について振返りの機会を設定し、全職員で課題等を共有し、改善に向けた検討を行う。

(2) 適切な経理処理

ア 目標

適正な経理処理（公費、私費、部費等）の手順について理解を深め、公正かつ透明な会計処理を実現する。

イ 行動計画

- i 各種報道、啓発資料等を活用し、全職員に継続的な意識啓発、注意喚起を行う。
- ii 適正な会計処理を日々の予算執行手続きの中で実行することで適切な経理処理手順を職員に浸透させる。
- iii 本校の課題等具体的な事例を踏まえた校内研修会を設定し経理処理に係る理解を深める。

(3) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）

ア 目標

個人情報の適切な管理、取扱いに努め、個人情報流出等の事故を防止する。

イ 行動計画

- i 各種報道、啓発資料等を活用し、全職員に継続的な意識啓発、注意喚起を行う。

- ii 本校の情報取扱いに関する諸規程を再確認するとともに、必要な手続き等が適切に行われているか定期的に確認する。
- iii 本校の課題等具体的な事例を踏まえた校内研修会を設定し適切な情報管理に関する意識の向上、取扱いをはかる。

(4) 体罰、不適切な指導の防止

ア 目標

松陽高等学校「いじめ防止基本方針」にのっとり、生徒の人権を尊重し、信頼感が育まれる適切な生徒対応に努め、体罰や不適切な指導の根絶をはかる。

イ 行動計画

- i 各種報道、啓発資料等を活用し、全職員に継続的な意識啓発、注意喚起を行う。
- ii 定期的に設定される情報交換会議や学年会等を通じて職員間の生徒情報の共有化をはかり、言葉がけ等個々の生徒に対する適切な対応に努める。
- iii 本校の課題等具体的な事例を踏まえた校内研修会を設定し、体罰、不適切指導の防止に向けた意識を深める。

(5) セクハラ・わいせつ行為の防止

ア 目標

教育公務員としての自覚を深め、人権感覚の醸成に努め、セクハラ・わいせつ行為の根絶をはかる。

イ 行動計画

- i 各種報道、啓発資料等を活用し、全職員に継続的な意識啓発、注意喚起を行う。
- ii 本校の現状をふまえた校内研修会を設定し人権意識の向上をはかるとともに、相談しやすい職場環境づくりの手立て等について全職員で考え、取り組んでいくよう努める。

(6) 公務外非行の防止（法令遵法意識の向上）

ア 目標

教育公務員であるとの自覚を深め、生徒、保護者及び社会から信頼される行動をとる。

イ 行動計画

- i 職員行動指針の内容を周知徹底するとともに、啓発資料等を活用し、全職員に継続的な意識啓発、注意喚起を行う。
- ii 自己点検シート等を利用した自己チェックを実施するとともに、具体的な事例を用いた校内研修会を設定し意識の向上をはかる。

(7) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

ア 目標

交通事故及び酒酔い・酒気帯び運転による事故を未然に防止する。

イ 行動計画

- i 各種報道、啓発資料等を活用し、全職員に継続的な意識啓発、注意喚起を行う。
- ii 具体的な事例を踏まえた校内研修会を設定し交通ルールの遵守、マナーに関する意識の向上をはかる。

3 検証・評価

- (1) プログラムの行動計画について実施状況を検証し、各目標達成についての実施結果をとりまとめ自己評価を行う。
- (2) 平成29年度の実施結果に関する評価を踏まえて、平成30年度不祥事ゼロプログラムを作成する。

〈平成29年度 不祥事ゼロプログラム 行動計画表〉

月	重点目標	行 動 内 容	担 当
4	会計処理	生徒会費執行手順の確認・留意点 「私費会計事務処理の手引き」の内容確認、事例紹介 登録費、大会参加費の適正な会計処理	活動推進G 管理渉外G
5	不適切指導の排除	定期試験における事故防止に係る研修会 教育実習生に対するセクシャル・ハラスメント防止 について	学習推進G
6～ 7	適切な行事指導 不適切指導の排除 業務執行体制	球技大会・部活動における健康面への配慮 夏季休業中の合宿・練習等における事故防止 AED講習会 成績処理システムに関する研修会 調査書作成・発行に係る手順の確認	活動推進G 生活推進G 学習推進G 進路推進G
8	セクハラ・いじめ 公務外非行 体罰・不適切指導	人権に係る研修会（LGBTについて考える） 公務員としての自覚、チェックリストの活用 体罰に係る研修会 事例紹介	生活推進G 管理職 活動推進G
9	個人情報管理 会計処理 業務執行体制 不適切指導の排除	個人情報の管理状況について点検 事故未然防止チェックリスト、中間監査にむけて 財務事務調査の監査結果に基づく改善対応 推薦会議の実施に向けた手順確認 文化祭時の適切な指導、会計処理の管理	管理職 進路推進G 活動推進G
10	適切な生徒理解	生徒会役員体制が変わることによる業務分担の確認 修学旅行に係る事故防止についての研修会	活動推進G 管理職
11	交通事故防止 業務執行体制 事故の未然防止	年末にむけた飲酒等の事故防止 事故点検 入試業務の確実な遂行に係る研修 <u>校内研修会</u>	管理職 入学者選抜会議 <u>外部講師</u>
12	業務執行体制 交通事故	成績処理システムに関する研修会 調査書作成・発行に係る手順の確認 啓発資料に基づく検証	学習推進G 進路推進G 管理職
1	業務執行体制 個人情報管理 不適切指導の排除	入試業務の確実な遂行に係る研修 調査書発行に関する書類点検体制の確認 職員の協力体制のもと適切な指導	入学者選抜会議 進路推進G 活動推進G
2	最終検証、評価		事故防止会議
3	個人情報等の管理 文書整理 適正な会計処理	個人情報の管理の徹底 年度末の文書整理、誤廃棄、紛失等の未然防止 年度末会計処理を的確に行う	管理職 活動推進G 管理渉外G